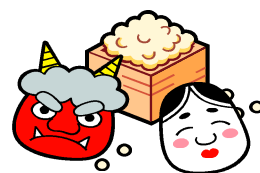


# 湊小たより



〈節分は、2月3日〉

平成30年(2018年)2月号

学校長 小谷 雅之

## 戌(いぬ)年も、はや2月になりました！

2018年もはや2月、一年の12分の1が終わってしまいました。今年の2月は、冬季オリンピックが開催され、日本人の活躍も期待されるので応援しましょう。

さて、昨年末までは、本校ではインフルエンザの流行はあまり聞かれなかったのですが、やはり3学期が始まってからチラホラとB型による欠席者が出てきて、2年生が学年閉鎖となってしまいました。2月、3月は、学年のまとめや卒業式の時期を控えて、いろんな心配が先に立ってきます。インフルエンザは1回罹患しても、2回目も異なった型に罹患する可能性があるということなので、うがいや手洗いを励行し、健康な状態で3学期のまとめの時期を乗り切ってほしいと願うところです。

ところで、1月には、1・3年の「モノづくり体験」として、きれいな色模様の玉(土壁の土をこねて、色を付け磨いたもの)を作る体験をしました。また1月22日には、休憩時間に地震が起こった場合を想定した避難訓練を幼稚園と合同で実施しました。休憩時は、みんなは学校内にいますが、それぞれ違う場所にいるので、自分でどう行動するかを考えなければなりません。学校にいる場合は、避難する場所は校舎から離れた運動場の中央付近に集合し、そのあと津波が来るときは校舎の3階に避難します。何回訓練しても100%の安全とは言い難いかも知れませんが、子供の命を守れるように繰り返しています。

2月19日(金)には、授業参観・学級懇談会があります。学年最後の懇談となりますが、来年度に向けてお子様とあるいは担任と話し合う機会としていただければ幸いです。2月末には6年生を送る会を終え、3月になると6年生のお別れ遠足、そして学校行事で最も重要な行事の一つである卒業式(3月19日)を残すのみとなります。毎年、この時期には別れがあり、少し寂しい気持ちになります。が、また新しい出会いがあることに希望を抱き、前を見て力強く歩いていきたいものです。



## 大切な大切な家庭学習！

年度当初、「家庭学習の手引き」を配布し、有効な活用をお願いしました。学校での授業が大切なのは、当然ですが、では、何故、家庭での学習も重要なのでしょうか。

①学校で習ったことを補って、その日のうちに理解するため(復習)の家庭学習。

②次の授業内容の理解に備えるため(予習)の家庭学習。

①は、学校で学習した内容を定着させるという事です。学習内容を「理解」し「わかった」ということを確認するために紙の上(ドリル、問題集等)に表現する、問題を解いてみる、試すということが大切です。頭の中で分かったつもりでも、実際に書ける、解けるができるかどうかを目で見えるようにして確認するという事です。書いて表現すると、書けない(解らない)箇所がはっきりし、確認できます。

②の授業の理解に備える予習は、授業での理解がしやすいように事前の準備をすることです。授業内容が理解できなければ、①の復習のための時間も大幅にかかってしまいます。授業は、クラスみんなが理解できるように担任が努力しますが、得意・苦手や進むペースによってどうしても理解の程度に差が出てきます。だから、できるだけ理解できるように、次の授業の大体の内容を自分なりに事前に把握しておくということも重要となります。

少しずつ習慣付けていきましょうネ！